

としまち研掲示板

△▼△としまち研 各部会の次回開催予定△▼△

共同建替え部会	12月18日(水)
コーポラティブハウス部会	12月17日(火)
団地・マンション再生部会	12月19日(木)
人と暮らし部会	2014年 1月21日(火)
総務部会	
広報部会	

としまち研会員の方であれば誰でも部会に参加できますので、是非ご参加ください。

☆プロジェクトニュース☆

・コーポラティブハウス羽根木公園

引き続き参加者募集中です。新築工事が始まりました。どなたかご関心のあるお知り合いがいらっしゃいましたらご紹介ください。

第2回防災対策情報交流会を開催します
第1回交流会を9月23日に開催しましたが、第2回目を下記の通り開催します。2回目からは、千代田区内に限らず、防災対策にご関心のあるコーポラティブハウス・マンション管理組合の方はどなたでもご参加いただけます。ぜひたくさんの方のご参加をお待ちしております。

記

日時：12月7日(土) 11時より
場所：COMS HOUSE 2階 会議室
内容：①防災備品の紹介(予定)
②震災時活動マニュアルを使った防災訓練実施の報告

なお、今後は、建物ごとの震災時活動マニュアル作成の提案・検討会を行っていく予定です。

としまち研会員募集

としまち研では、活動に参加して下さる方(正会員)や活動を応援して下さる方(賛助会員)を募集しています。

詳しくはとしまち研のホームページをご覧ください。

まちづくりのご相談は事務局へ

○借入金があるが何か建替えの方法はあるか。
○お隣りも建替えを考えているようだが共同建替えは自分たちでは調整できない。
というような難しいご相談も検討します。
お気軽にご相談ください。

編集後記

先日、ある方からとっても大きな、そしてたくさんのどら焼きをいただきました。どこから買ってくださったのか、よくよく見ると日本橋…。そんなお店はどこに??と事務所内で地図を見て、インターネットで検索してしまいました。どうやら並んで買っていたらよかったようで、とってもおいしかったです。としまち研に来て、千代田区内に住み始めて10年を過ぎましたが、まだまだ知らない場所がたくさんあるのだなぁと感じる出来事でした。おいしいものに限らず、まちの魅力等の情報をお持ちの方、ぜひ事務局まで。あまり人には知られたくないということであれば内緒でもよいですよ。(事務局 飛澤)

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町33 COMS HOUSE 2階
tel 03-5207-6277 fax 03-5294-7326
E-mail info@tmk-web.com ホームページ http://www.tmk-web.com/
皆さまからのご意見、ご感想をお待ちしております。

としまち研現在の会員数
正会員 66人 賛助会員 32人
編集発行人 平石郁夫
事務局担当 飛澤玲奈



としまち研会報 第66号

おいらのまち

2013.11

発行 NPO 都市住宅とまちづくり研究会 理事会

東矢本駅北地区への集団移転、区画決めで一山越え

11月23日(土)、24日(日)、事務局を務めている東松島市東矢本駅北地区まちづくり整備協議会(以下、「協議会」という。)の個別に家を建てる251世帯を対象とした「区画調整会」が行われました。20世帯前後で構成する14ブロックを3~4ブロックずつ各日前半後半に分けて実施。としまち研は15人体制で臨みました。



区画調整会の様子

これは協議会設立以来の重点課題の一つで、区画決定ルール検討部会において、区画面積の調整から開始し、どんなルールで決めていくのか検討してきました。

7月の区画決定ルール検討部会、役員会を経て決定した「区画決定の進め方」に従い、8月3日~5日と10日に合計7回の説明会を開催し、対象となる協議会会員のほとんどに参加してもらいました。

その後、14のブロックを設定し、まずは各世帯がどのブロックにするかを希望登録してもらい、公表⇒変更登録⇒ブロック調整⇒最終ブロック決定会を行い、全世帯が所属するブロックを決めました。

そして、ブロック内のどの区画にするか検討するための資料を関係全世帯に送り、11月21日(木)には「街並みルール」の説明と合わせて、「区画決め手順」(「区画調整会」)の説明を行いました。

「区画調整会」では、初めに、郵送した資料の詳細や区画決めの手順の全体説明を行いました。約25分の全体説明の後、ブロック毎にそれぞれの会場に入り、希望登録⇒公表⇒話し合い⇒変更登録⇒抽選などの手順を踏んで、区画決定しました。話し合いで決まり、抽選のなかったブロック、抽選をたくさん行ったブロックなどそれぞれでしたが、会員の皆さんは我が家の区画が決まったことでホッとした様子で帰っていきました。



区画決定を喜ぶ協議会会員

としまち研としてもホッと一息と言いたいところですが、今後は移転先の「新しいまち」の名称選考委員会の2回目、災害公営住宅部会、役員会、公共施設検討部会…と年内もまだ課題が山積みです。

おいらのまちをお読みの方にも、ぜひ、東松島市での活動にご関心をお持ちいただければ幸いです。(としまち研理事長 杉山昇)

おいらのひとりごと

『おいらのひとりごと』はとしまち研会員によるリレー形式のエッセイです。

『“ばば”のチューリップ球根植え』としまち研 杉山洋子

昨年、初めてのチューリップ球根植えには、ほとんどの“こはす”の子どもたちが参加し、球根を植えたところに、植えた子の名前を書いた名札を立てました。3月になって、チューリップの花が咲くと子どもたちは大喜び、摘んでお家で飾ってもらいました。



球根植えの様子

今年も、“こはす”の子どもたちによる球根植えをしました。私は住人ではないのですが、孫(娘一家)が住んでいるので、「植栽委員」として、球根を準備したり、ご褒美のお菓子を準備したり…。“ばば”力が入ります。子どもたちの近所のお友だちも参加してくれて賑やかに植え付けが行われました。



参加してくれた子どもたち

なお、こはすでは植栽の水遣りを当番制にしていますが、住民の皆さんの協力で植木たちは順調に成長しています。

※次号の『ひとりごと』は田辺誠史さんです。お楽しみに。

一木会ご報告（原則、毎月第一木曜日にCOMS HOUSEで行う勉強会・交流会です）

★第218回一木会（2013.10.3）

3年半ほど前の第175回一木会でのお話「自治体の森林保全施策と独自課税」に続き、日本大学経済学部教授の沼尾波子先生に、「少子高齢社会における地域ケアの課題」というテーマでお話をいただきました。



社会保険給付費や介護保険制度については、制度を理解しきれない部分もあり、沼尾先生がお持ちの豊富なデータにより、だいたいの頭の中をすっきりさせることができました。また、地域包括ケアシステムの先進事例についても、とても勉強になるお話をいただきました。

★第219回一木会（2013.11.7）

としまち研理事の市野恵司氏に「みんなでつくるマンションの『震災時活動マニュアル』」というテーマでお話をいただきました。



団地・マンション再生部会が文京区の74戸のマンションの第1回大規模修繕をお手伝いしたご縁で、「防災マニュアル」の作成のお手伝いをしたお話です。

いざというときの具体的な体制や動き方など、日常はなかなか考えられないことですが、このマンションでは翌々日の土曜日に『震災時活動マニュアル』に基づく防災訓練をすること、大いに学ばせていただきました。

今後の一木会予定

★12月（12月12日）【第220回一木会】★

恒例の“古今亭駿菊独演会&忘年会”です（今年も三遊亭粋歌さんが一緒に来てくれます）。《予約制》参加希望の方は、12月10日（火）までに事務局までご連絡ください。ご参加をお待ちしております。

★1月（1月9日）【第221回一木会】★

としまち研理事長 杉山昇氏 「東松島市における復興支援活動の報告（仮題）」

震災時活動マニュアルを使用した防災訓練を実施

昨年からマンションの防災対策検討のお手伝いをしてきた根津シティタワーで、11月9日（土）「震災時活動マニュアルを使用した防災訓練」が開催されました。当日は、防災訓練の他に、文京区本郷の消防署による消防実技指導も行われ、総勢30名の方々が参加しました。

震災時活動マニュアルとは、昨年10月より防災対策検討委員会を中心に作成の検討を開始した「震災発生から3日間のマンション内の居住者の活動指針」です。居住者への防災意識調査のアンケート、文京区の防災計画や他マンションでの先進的取り組みなどを参考にしながら作成しました。

訓練当日は、マニュアルを参考にしながら、参加者を3つのブロック（フロアで構成する活動の最小単位）に振り分け、その中からブロック全体の活動を指示する「ブロック長」、救護が必要な方の把握・救護を行う「救護班」、ブロック内の安否情報を把握し対策本部に情報伝達を行う「情報班」を選任し、実際に体を動かしながら震災発生から一日目の活動の流れを実践しました。また、1階ではあらかじめ選任した本部メンバーで対策本部を設置し、救助工具の準備、インターホンを使った安否の確認、各ブロックより流れてきた安否情報の整理を行いました。



停電時に備えた訓練を行いました

震災発生後は自助（自らの安全は自らが守る）が基本となりますが、電気、ガス、下水道、エレベーターなどのライフラインが停止した中で、被災生活を送っていくためにはマンション内での助け合いが重要となります。今回の震災時活動マニュアル作成や防災訓練を通じ、一人一人の防災意識を高めるとともに、マンション内でのコミュニティ増進に寄与するきっかけになったのではないかと思います。今後も、としまち研では防災対策の検討を継続し、日頃よりがんばって活動する管理組合の皆さんを応援していきたいと思ひます。

（としまち研事務局 岩ヶ谷充）



ブロックでの話し合いの様子

（仮称）コーポラティブハウス羽根木公園の地鎮祭

11月4日（月）、大安吉日、コーポラティブハウス羽根木公園の地鎮祭並びに直会が行われた。旧建物の解体工事も終わり、見事に整地された工事現場に、立派な仮設テントが組み上げられていた。



地鎮祭前の近隣あいさつの様子

地鎮祭に先立ち、組合員で分担し近隣の挨拶回りを行う。一部工事騒音の振動についての苦情を受けたケースもあったが、近隣の雰囲気を知ることができる貴重な機会であった。その後工事現場に戻り菅原神社の神主様をお迎えし、厳かな雰囲気の中地鎮祭がおこなわれた。慣れない儀式に戸惑う場面も見られつつ、最後は一軒ごとに家族全員で玉串を奉納し、工事の無事と建物の立派な完成を祈った。そぼ降る雨も直会のパーティーにはやみ、晴れ間も見えた。どこかで虹も祝福していたに違いない。

（建設組合理事長 永倉 薫・美枝子）



鍬入れの様子

直会は、としまち研恒例のバーベキュー大会を実施しました。地鎮祭実施時は、雨が激しく降っていたのですが、終了するやいなや小雨になり、ついには雨が止み、晴れ間が垣間見えるほどでした。（としまち研の杉山さんが晴れ男なのかもしれませんね。）

理事長の永倉さんの乾杯の挨拶にはじまり、お肉や焼きそば、また子どもの大好きなお好み焼きを鉄板で焼いたりしながら、建設会社の方や現場責任者の方、また近隣の方々と楽しくたくさんお話をすることができました。

完成したら「あんなことができたらいいね」「こんなことがしたいね」をたくさんお伺いしたので、イベント委員としてこれから実現出来るよう尽力していきたいと思ひます。（建設組合イベント委員長 前田亮・由貴）



地鎮祭での集合写真

福島県いわき市豊間地区の復興交流ツアーに参加

昨年、としまち研から、いわき市豊間地区の「ふるさと豊間復興協議会」サポートセンターの建設資金を寄付しました（おいらのまち59号をご覧ください）が、今回、復興協議会の支援をされている“再生ふるさと豊間東京支援グループ”からお誘いをいただき、11月3日（日）に開催された復興交流バスツアーに参加しました。

行きの車中では、これまでの復興協議会のさまざまな活動について報告がありました。何度も住民ワークショップを行い、分野ごとにきちんと提言がまとめられている様子など、これまでの協議会と支援グループの密度の濃い取り組みについて説明がありました。

現地に着いて早々、集まった地元住民の方々とともに、地元のサポートセンターの寄付者名が刻まれたメモリアルプレート設置セレモニーに参加しました。



としまち研の名前もこの辺に

協議会の拠点となる場所に、自分たちがいつでも集まることのできる事務所があるのはとてもうらやましいことです。としまち研が支援している東矢本駅北地区まちづくり整備協議会でも、ぜひ、協議会の拠点となる事務所をつくることのできたらいいな、と思ひました。

帰りのバスでは、参加者に地元の山の“どんぐり”が配られました。将来、防災緑地ができた時に苗を植えられるよう、里親になって苗を育ててもらいたいという趣旨です。苗が育って、また豊間に植樹に行けるように、まずは芽が出る来年の春が待ち遠しいです。（としまち研事務局 飛澤玲奈）



プレートを設置する高見澤先生